

市政方針

次世代のための『挑戦する市政』の実践

■ 政策推進課
☎ 32) 6 0 3 9

第9回市議会定例会で、岩倉市長は平成29年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、若い世代が自信を持って未来への夢や希望を描くことができるよう、次世代のための『挑戦する市政』の実践に向けた強い決意を表明しました。市政運営に臨むに当たり、基本政策として3項目、重点施策として10項目、主要施策として総合計画に基づく5つのまちづくりの目標に沿った施策を掲げました。



岩倉 博文
いわくら ひろふみ
吉小牧市長

地域にとつての何よりの財産は、そこに住む「ひと」です。「ひと」と「ひと」とがおのずと助け合い支え合う、そんな温かい気持ちに満ちあふれた『ふくしのまち』を目指し、今年度は『warm heart!なまちづくり』を掲げ、『ふくし大作戦!!!2017』を展開します。また、北海道第5の都市である本市は、近隣地域との共存共栄をリードしていく立場として、幅広い分野で広域連携を強化していきます。

さまざまな事業を進める上で欠かせない「財政基盤の強化」に向けて、効率的な行政運営を心掛けるとともに、臨海ゾーンにおける新たな物流機能の構築や、臨空ゾーンでのIRなどの国際観光リゾートの展開、ものづくり産業の集積という3つの成長戦略による歳入拡大に取り組みます。

若い世代が自信を持って未来への夢や希望を描くことができるよう、次世代のための『挑戦する市政』を実現し、20年先も食べていけるまちを創り上げていきます。

基本政策

1 財政健全化

財政基盤安定化計画に基づく将来シミュレーションによる指標管理を行い、財政の健全性を確保し、さまざまな行政課題や財政需要に対応可能な財政基盤の強化に取り組みます。

2 行政改革

行政改革プラン—NEXT STAGE—ネクストステージの見直しを図り、特に総合行政システ

ムの導入に併せた、総合窓口の設置に関する検討を本格化させます。また、新たに任期付職員制度を導入し、多様化する市民ニーズや複雑化する行政課題に柔軟かつ的確に対応する、簡素で機能的な組織を目指します。

3 市民自治の推進

市民であることが誇りに思えるまちを築くため、企業市民や関係団体との連携を進めます。また、まちかどミーティングなどを通じ、多くの市民の声をまちづくりに反映します。

重点施策

企業誘致

ものづくり産業の集積地域として、周辺自治体などと連携しながら戦略的な誘致活動を展開するほか、水素エネルギーの活用や農水産物の付加価値の向上など成長が見込まれる産業の展開を促進します。さらに、企業サポートの充実を図ります。

子育て支援

小規模保育施設の拡充を進めるとともに、多子世帯への保育料無償化の対象を拡大するほか、子育て世代包括支援センターでの支援の充実を図ります。また、人口増加が著しい沼ノ端鉄北地区への児童センター建設に着手するとともに、こども研修事業を実施し青少年の健全育成に努めます。

災害に備えたまちづくり

大雨対策3カ年事業の最終年度として、小糸魚川や小泉の沢川の整備を行うほか、東部地区の排水ポンプを増強し、浸水被害の軽減に努めます。また、防災対策システムを活用した市民向けの情報発信を強化するとともに、10月に「火山砂防フォーラム」を開催し、火山と地域の安全について理解を深めます。

ふくし大作戦!!!2017

市全体に『ふくしの心』を広める取り組みを継続的に行い、時代の変化に伴うさまざまな課題の解決に積極的に